



☆カエルが元気になってくる季節になりました。

☆天候も穏やかになり、大きな病気の流行もなく、小児科の患者さんが一番少なくなる季節です。昔のこの季節は、感染症の流行はなくても、喘息のお子さんがゼーゼーして入院が急増するのが常でしたが、今は喘息の治療法が変わり、ゼーゼーで眠れず入院というお子さんは激減しました。

☆そろそろ病気も夏モードになってきます。手足口病、ヘルパンギーナなどの夏風邪にはご注意ください。来年度のスギ花粉症の予防のための舌下免疫療法を希望される方は、ご相談ください。

☆5月24日より、一般診療では予約システムを開始しました。いままで通りの直接受診でもかまいませんが、予約希望の方はWeb予約をされてから受診をお願いします。詳細はリーフレット、HPをご覧ください。

☆7月1日より予防接種・検診のWeb予約受付も開始予定です。

6月の診療予定

本間医師（2日午前 16日午前・午後）

6月の休診予定：ありません

16日（吉川休診：本間医師の代診です）



ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

診療案内



受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。

予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。

付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：窓口または電話でご予約をお願いいたします。

☆専門外来

①**発達外来（第2・4火 13:30～15:30、予約制）** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来（第1・3金 9:00～12:00 予約も可）**

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。（Web予約はできません）

☆生協こどもクリニックとも協力して診療を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

アデノウイルス感染症



〈アデノウイルスとは?〉

- ・”アデノ”とは、扁桃腺やリンパ節を意味する言葉です。アデノウイルスはその名の通り、扁桃腺やリンパ節の中に潜んで増えます。人に感染するアデノウイルスは49種類知られており、どの種類がどのような症状を起こすのか、ある程度わかっています。
- ・アデノウイルス感染症は特に季節性がなく、その症状も軽いかぜ程度から重症の扁桃腺炎や肺炎、さらには結膜炎や嘔吐下痢症など多彩です。
- ・扁桃腺炎や結膜炎などはその症状が非常に強くて、細菌感染によるものと見分けがつかないことが度々あります。細菌性のものであれば通常、抗生剤が効くのですが、アデノウイルスによるものは抗生剤が効かないため、外来で治療していても一向に熱が下がらないことがよくあります。幸い多くの場合、時間さえたてば自然に治るのですが、その間、治療するほうもされるほうも、不安な気持ちになるものです。

〈アデノウイルスが起す病気は?〉

アデノウイルスはいろいろな病気をおこします。概して潜伏期は5～7日で、感染経路は便、飛沫、接触によります。免疫が付きにくいので繰り返しかかることもあります。

①上気道炎、気管支炎

熱、鼻水、咳、のどの痛みなどを主な症状とするいわゆる「かぜ」の原因になります。時に高熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などのインフルエンザ様症状を呈することもあります。

②肺炎

特にアデノウイルス7型は重症の肺炎を起こすことで知られています。5歳以下の乳幼児がかかることが多く、髄膜炎、脳炎、心筋炎などを併発することもあります。

③扁桃腺炎

扁桃腺に膿がつき、高熱が3～7日間続くことが多く、血液検査では白血球が増えてCRPなどの炎症も高値になり、細菌感染と区別がつかない場合があります。

④咽頭結膜炎（プール熱）

主としてアデノウイルス3型によります。高熱が3～7日持続し、扁桃腺が腫れ、のどに痛みを訴えます。両目または片目が真っ赤に充血し、目やにがでます。夏にプールを介して流行することがあるため、プール熱と呼ばれていますが、プールに入らなくても飛沫や糞便を介して感染します。うがい、手洗い、プールの塩素消毒などである程度予防できます。学校伝染病の一つであり、主要症状がなくなった後、2日間登校禁止になります。アデノウイルス感染症すべてが登校禁止になるわけではありません。

⑤流行性角結膜炎

主としてアデノウイルス8型によります。目が充血し、目やにがでますが、咽頭結膜熱のように高い熱はなく、のどの赤みも強くはありません。学校伝染病の一つで、伝染の恐れがなくなるまで登校禁止になります。

⑥胃腸炎（嘔吐下痢症）

ロタウイルス、ノロウイルスと同じく、乳幼児の嘔吐下痢症の主な原因となります。アデノウイルスによる腸炎は、腸重積を起こす原因にもなると言われています。

⑦出血性膀胱炎

主としてアデノウイルス11型によります。排尿時痛があり、真っ赤な血尿が出ます。

⑧無菌性髄膜炎

ほかのアデノウイルスによる髄膜炎同様、発熱、嘔吐、頭痛が主な症状です。

〈検査〉 鼻咽頭ぬぐい液、便の迅速診断キットがあります。10分ほどで結果が出ます。

〈治療〉 アデノウイルスに対する薬はありません。発熱、咳・鼻水、下痢・嘔吐などに対して対症療法を行います。

